

指揮 角田鋼亮

Kosuke Tsunoda

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2006年第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年第4回カラヤン生誕100周年記念の同コンクール第2位。2010年第3回グスタフ・マーラー国際指揮コンクールにて最後の6人に残る。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、東京都響、東響、東京フィル、名古屋フィル、京都市響、オーケストラ・アンサンブル金沢等と共演している。現在、セントラル愛知交響楽団指揮者、および大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者を務めている。2016年、第11回名古屋ペンクラブ音楽賞を受賞。2017-2018シーズンは、「ヴェルディ椿姫(名古屋二期会)」「フンパーティング:ヘンデルとグレーテル(びわ湖ホール)」への挑戦が決まっており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として、活躍の場を拓いている。

セントラル愛知交響楽団

Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。1990年から岩倉市の好意による練習場の無償借用や事業補助を機会に、1997年セントラル愛知交響楽団と名称を変更。2009年4月より一般社団法人として再出発、2013年に創立30周年を迎えた。2014年4月から音楽監督にチェコの名匠レオシュ・スワロフスキーが就任。指揮者陣に名誉指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一、指揮者角田鋼亮を迎え、楽団として新たなスタートを切る。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。海外では2007年7月、8月中国内蒙古自治区、2009年9月タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)で公演を行い、成功を収めた。また、2015年7月に半田市と音楽文化振興の協定を締結し、2016年度よりさまざまな事業が行われる。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評をもって迎えられている。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。

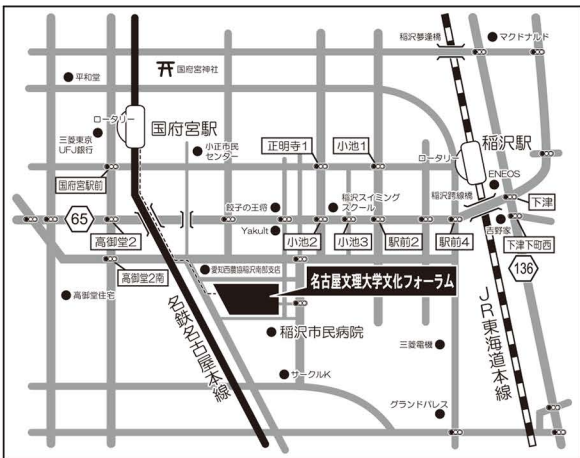
会場へのアクセス

名古屋文理大学文化フォーラム (稲沢市民会館) 大ホール

愛知県稲沢市正明寺三丁目114番地 TEL0587-24-5111

名鉄国府宮駅より徒歩15分

※駐車場約500台。乗り合わせ来館にご協力ください。



セントラル愛知交響楽団

TEL:052-581-3851
FAX:052-581-3852
E-mail:office@caso.jp
http://www.caso.jp

客席のご案内

A席: 3,500円
B席: 2,500円
枠線の内部がA席

セントラル愛知交響楽団 検索

舞台

